

インペリアル動作確認 設定マニュアル



シロ

2011 年 5 月 5 日

[第 2.1]

変更履歴

No	版	変更日	変更頁	変更履歴
1	1.0	2009/03/25	-	新規制定
2	1.1	2009/04/10	6 章	基本情報の設定で、SMTP 認証設定を追加
3	2.0	2011/02/04	全般	ツール名称を FX パーソナルナビからインペリアルへ変更
4	2.1	2011/05/05	P12 等	エラーNo.を追記。動作確認番外編マニュアルの紹介文を追記。

はじめに

本マニュアルでは、インペリアル動作確認用ツールの設定に関する事項を、記載させていただきます。

このマニュアルに沿って、テスト用ツールの設置、設定を行ってください。

おそらく、このファイルを読まれているということは、既に、ダウンロードファイルを解凍し、中身を確認されているものと思われます。

当テスト用ツールは、特にインストールなどの作業は、必要ありません。
なので、この解凍した状態で、即、使用することが可能です。

動作環境

1．OS 環境

- ・ Windows Vista
- ・ Windows XP
- ・ Windows 2000

2．インターネット環境

- ・ I.E.等 (I.E.6.x、I.E.7.x) のブラウザにてインターネット閲覧可能。

3．メール環境

- ・ プロバイダーメールが利用可能なこと。Web メールは基本的には不可。
但し、動作確認番外編でご紹介している方法により、Gmail 等、一部可能。

著作権

本ツール、および、マニュアルの著作権は、作者、執筆者にあります。無断複写・転用を強く禁止します。著作権法等の違反がある場合は、法律に基づき損害賠償を請求をする場合があります。

目次

1. インペリアル動作確認用ツールの設置	1
2. インペリアル動作確認用ツールの撤去	2
3. 起動方法	3
4. 終了方法	4
5. インターネット接続の確認	5
6. メール送付確認（基本情報の設定）	7
6.1.SMTP 認証について	9
6.2.メールのテスト送信	11
6.3.POP Before SMTP の最後の一手	14
6.4.設定データの全クリア方法	15
7. おわりに	16

1. インペリアル動作確認用ツールの設置

次の手順で、インペリアル動作確認用ツールを設置します。

1) 動作確認用ツールのダウンロード。

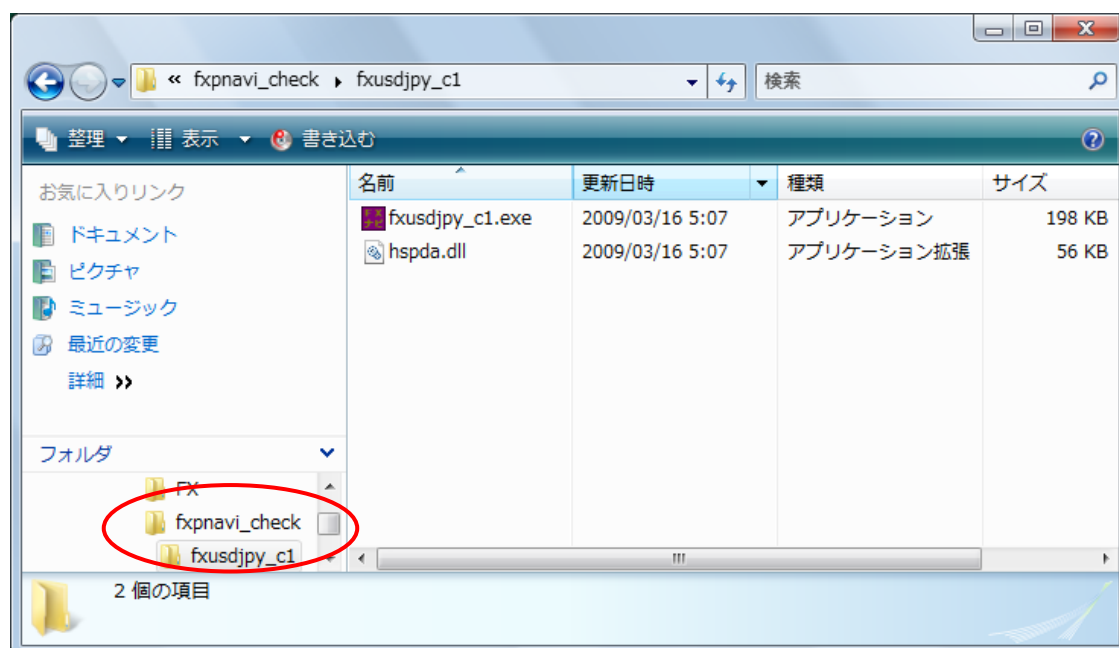
まず、インペリアルサイトから、当該ファイルをダウンロードしてください。

2) ダウンロードファイルの解凍。

ダウンロードファイルは、Zip 形式で圧縮してありますので、Zip 形式ファイルを解凍出来るツールで、解凍してください。

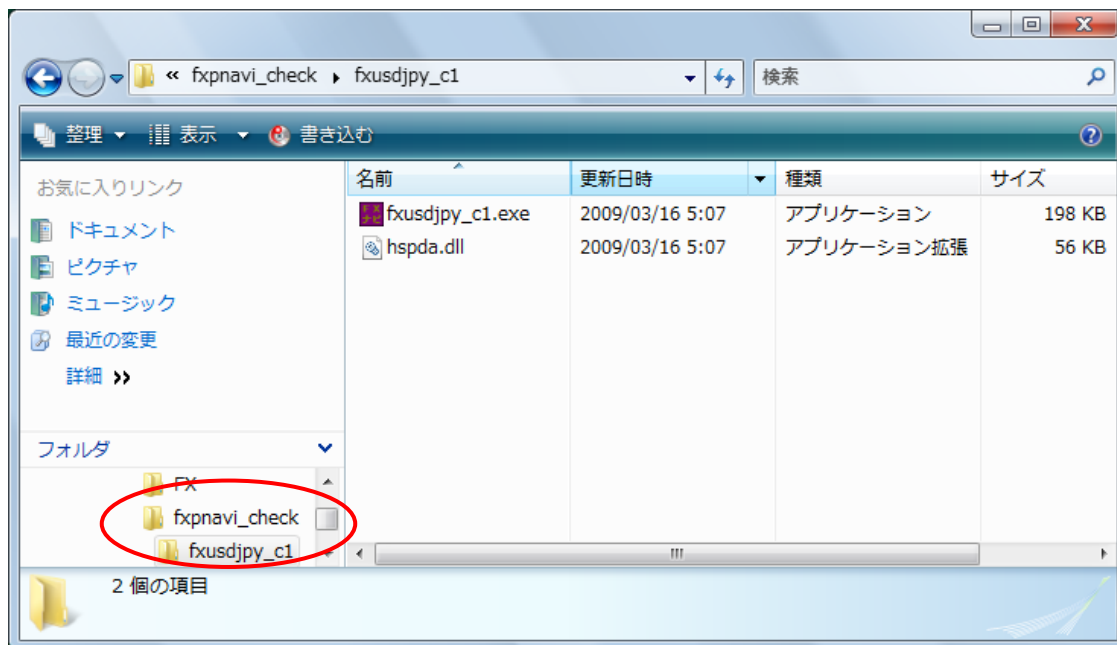
解凍ツールは、Lhaplus 等、フリーのものが多いので、お好みのツールで、ご解凍願います。

ダウンロードファイルを解凍すると、下記の様な状態になります。



2. インペリアル動作確認用ツールの撤去

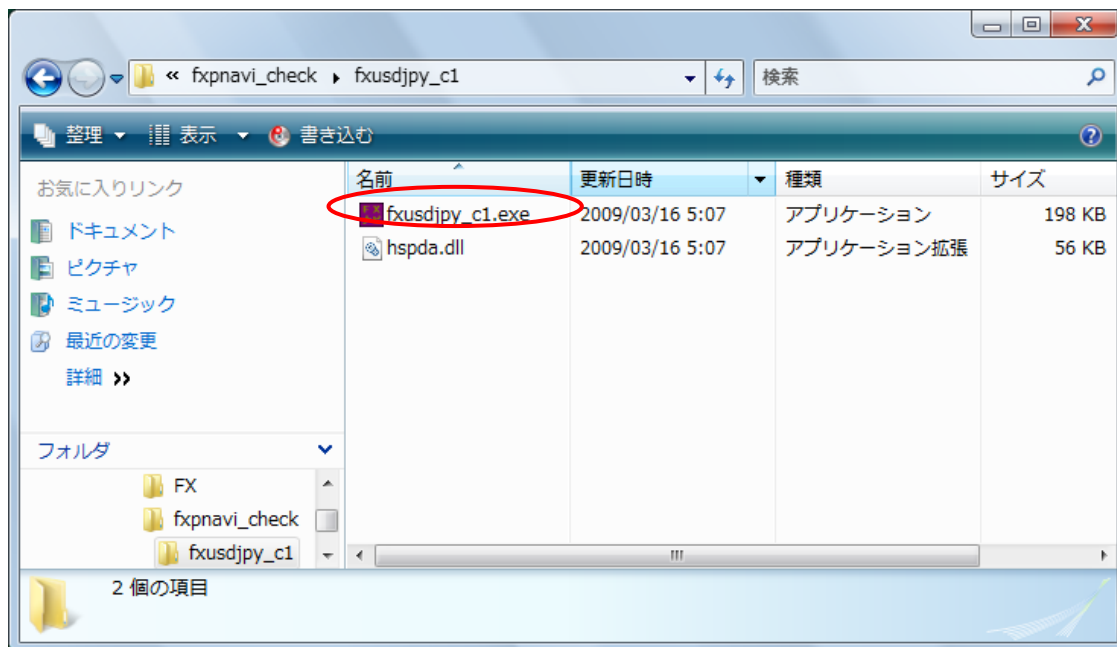
インペリアル動作確認用ツールを撤去するには、前述の解凍ファイル一式を削除することで行います。特にアンインストール作業は、必要ありません。



具体的には、上記のフォルダ配下を、フォルダごと削除することで撤去は完了します。

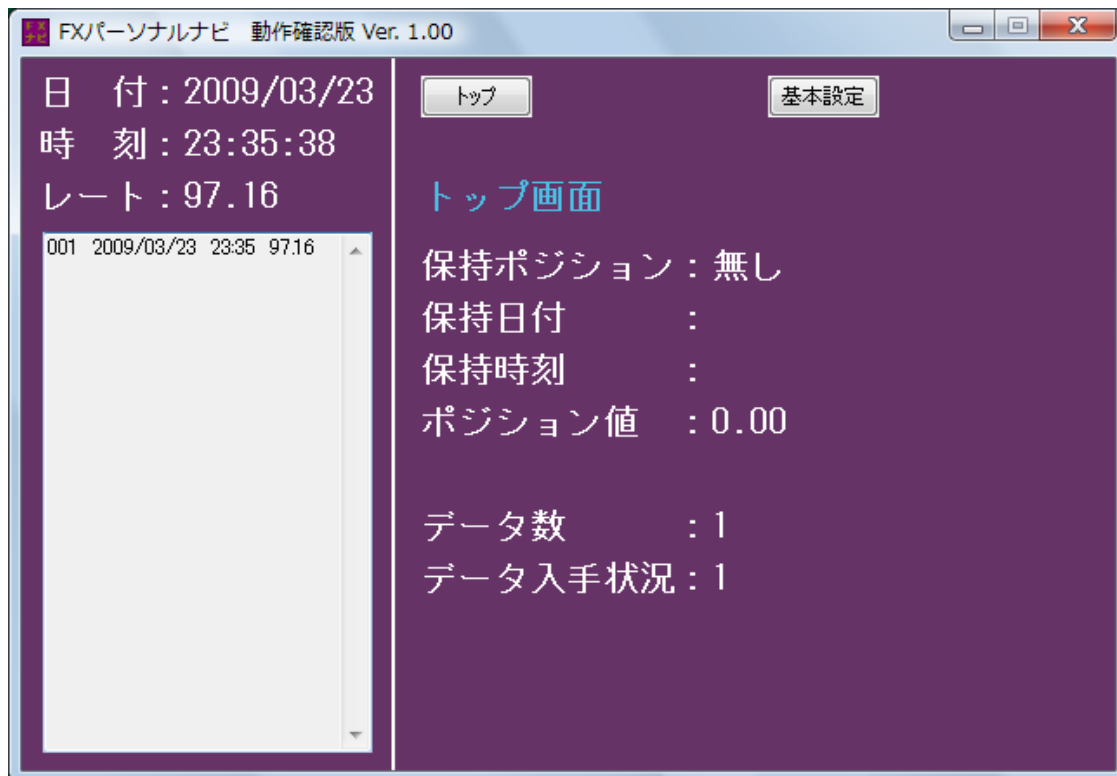
3. 起動方法

インペリアル動作確認用ツールは、以下の方法で、起動します。



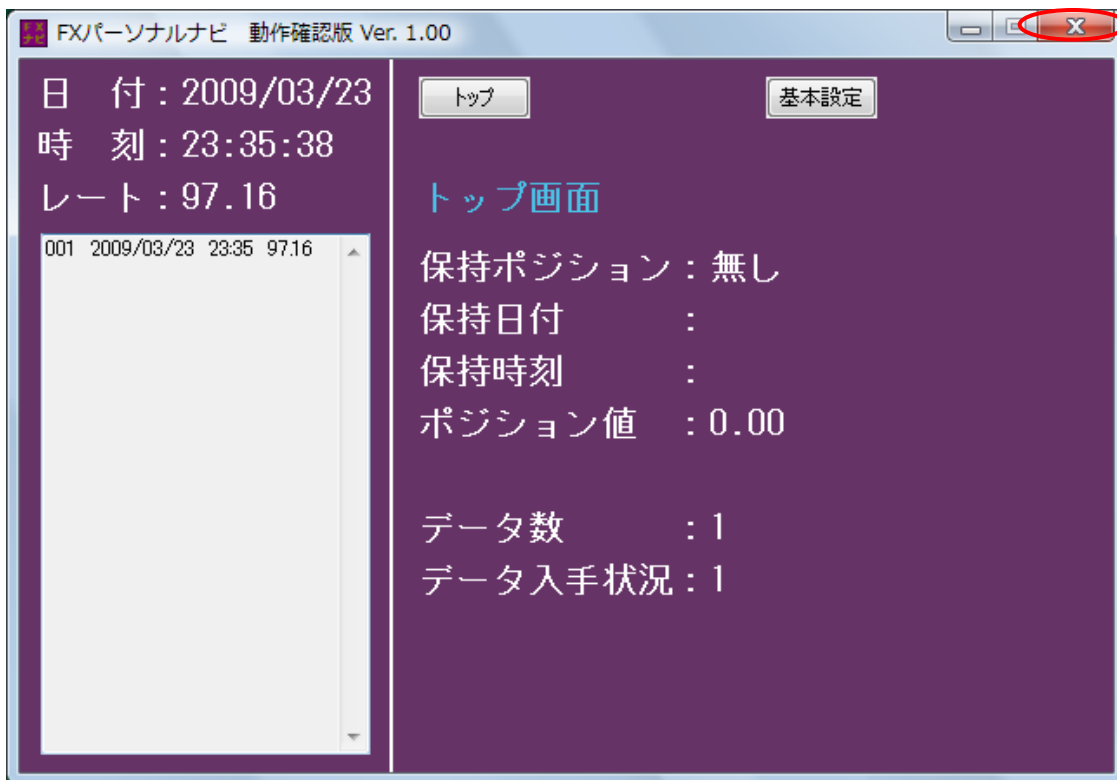
まず、上記の通り、fxusdipy_c2.exe をダブルクリックして起動させます。

すると、下記の様な画面が表示されます。



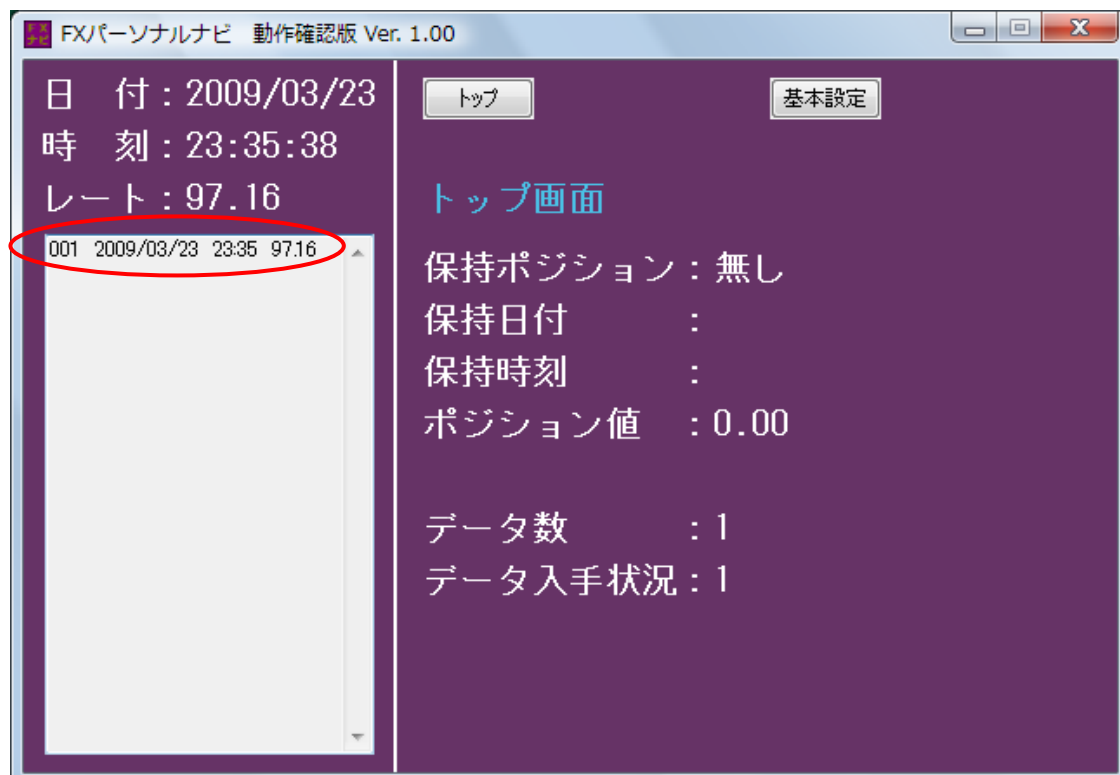
4. 終了方法

インペリアル動作確認用ツールは、以下の通り、右上の「×」マークをクリックして終了させます。



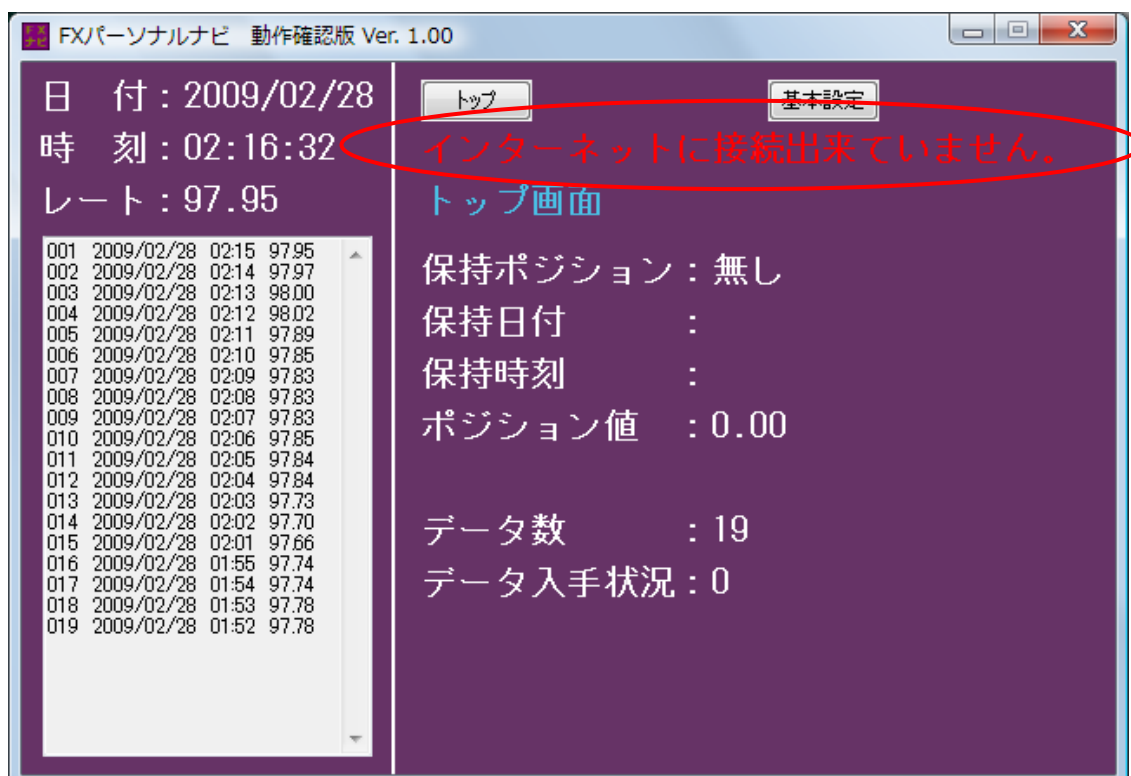
5. インターネット接続の確認

インペリアル動作確認用ツールを起動し、1～2分待つと、以下の通り、左側の画面に、現在のドル円値が表示されます。



この様に表示されれば、インターネット接続は、OK です。

もし、この段階で、以下の様なメッセージ表示がされた場合、I.E.等のブラウザで、インターネット接続がされているかどうか、ご確認下さい。



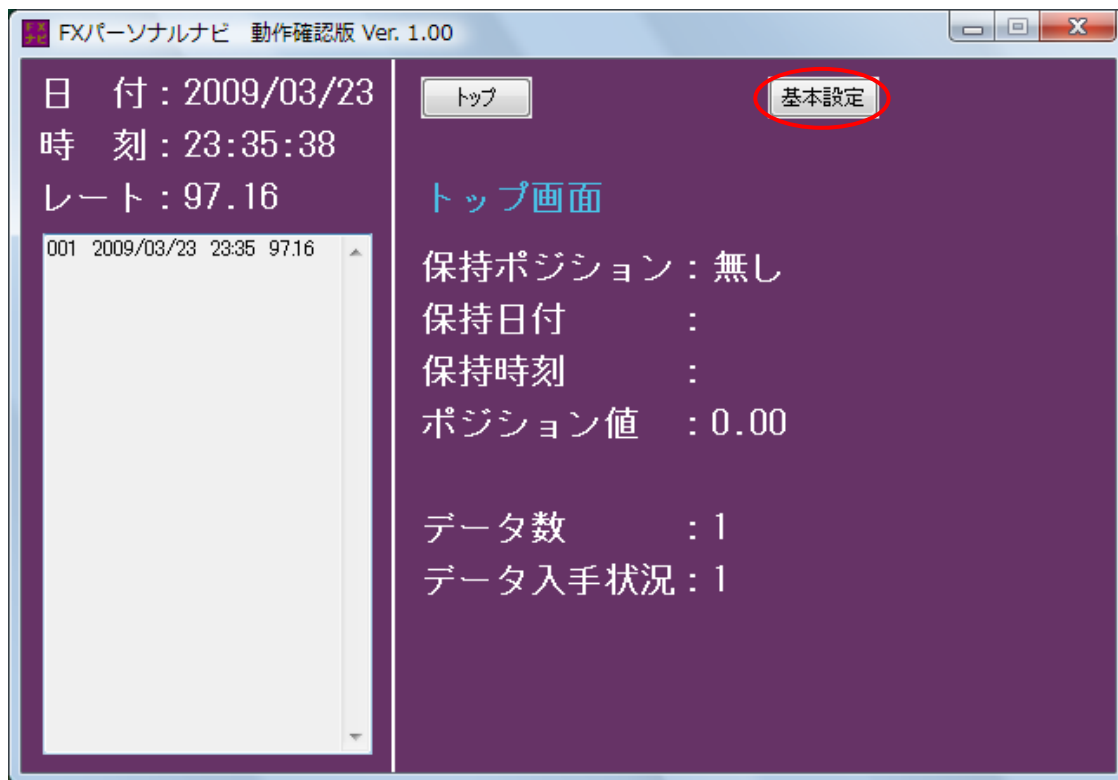
LAN 接続や、ルータの設定不良によって、インターネット接続が出来ていない可能性があります。

もし、この段階で、I.E.などではインターネット接続が出来ていて、当テスト用ツールで表示されないとすれば、残念ながら、商材の方も利用出来ないと思われます。

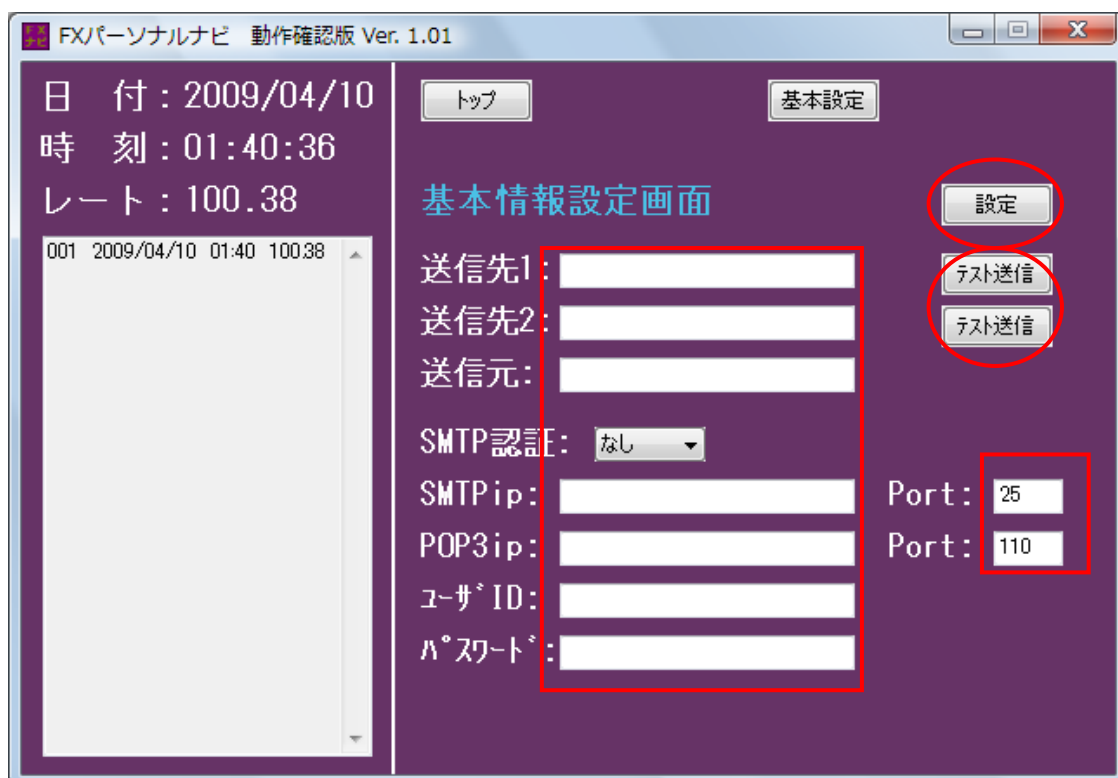
この場合、商材をご購入されてもツールは動作しませんので、ご購入は、お控えください。

6. メール送付確認（基本情報の設定）

次に、メールの送付確認を行うため、基本情報を設定します。下記の「基本設定」ボタンをクリックします。



すると、下記の画面が表示されます。



ここで、必要な情報を設定します。

- 1) 送信先 1。ここには、インペリアル動作確認用ツールからのメールの送信先メールアドレスを記載します。携帯でも可能。(省略可)
- 2) 送信先 2。ここには、インペリアル動作確認用ツールからのメールの送信先メールアドレスを記載します。携帯でも可能。(省略可)
- 3) 送信元。ここには、MS Outlook や、お使いのメーラーで設定している通常利用しているメールアドレスを記載します。
- 4) SMTP 認証。ここは、ご自分が契約されている各プロバイダ等の SMTP 接続に関する設定を参照して、同じ様に選択します。
- 5) SMTPip、Port。ここには、上記送信元のメーラーでの設定を参照して、同じ様に SMTP サーバの情報を設定します。
- 6) POP3、Port。ここには、上記送信元のメーラーでの設定を参照して、同様に POP3 サーバの情報を設定します。
- 7) ユーザ ID。ここには、上記送信元のメーラーでの設定を参照して、同様にメールのユーザ ID を設定します。
- 8) パスワード。ここには、上記送信元のメーラーでのパスワードを記載します。

6.1. SMTP 認証について

SMTP 認証について、簡単にご説明させていただきます。

SMTP 認証は、近年、スパム対策として採用されつつあるメール送信時の認証方式です。

これまで、SMTP サーバ、つまり、送信メールの受付サーバは、性善説に則って認証なしで送信が可能でした。

しかし、近年、スパムメールの増大と共に、その脆弱性が指摘されつつも、対策がなかなか進まない状況だったのです。

そのため、POP Before SMTP という、これまでの資源を有効利用する、「つなぎ」の技術を採用するプロバイダも多く、各社各様の状況になっております。

今回、インペリアルは、最大公約数的な設定である、POP Before SMTP でのメール送信方式として実装しましたが、SMTP 認証方式への過渡期ということもあり、ご要望も多かったため、急遽、対策を練って、LOGIN と PLAIN 認証に対応することとなりました。

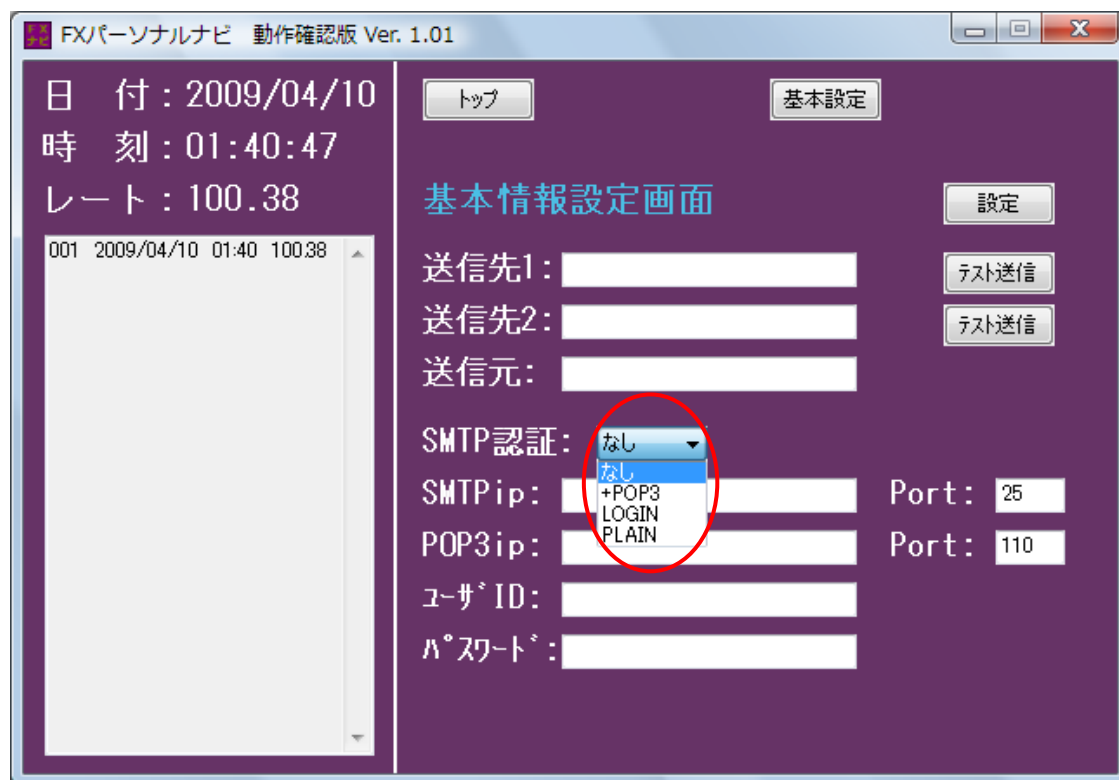
技術の進展に従って、この辺りの状況は、変化するかと思いますので、もし、どうしても、動作させたい環境がありましたら、ご連絡戴ければ幸いです。

可能であれば、対応させて頂くつもりでおります。

尚、SMTP 方式の所につきましては、今回、4 種類用意させていただきました。

- 1) SMTP 認証なし。これは、認証なしの、昔からある SMTP 方式です。
- 2) +POP3。これは、POP Before SMTP です。
- 3) LOGIN。SMTP 認証の LOGIN 方式です。
- 4) PLAIN。SMTP 認証の PLAIN 方式です。

通常、この4つのうちの、どれかで、メールの送信は、可能かと思われます。



但し、全ての送信内容を暗号化する、SMTP over SSL には対応しておりません。SSL 化につきましては、まだ対応しているプロバイダも少なく、今後の動向にもよりますので、対応しておりません。

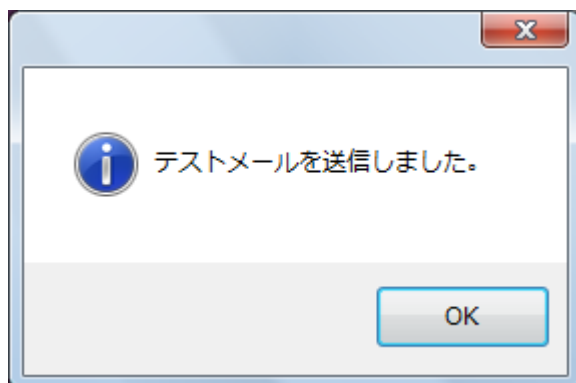
もし、SMTP サーバとの通信で、SSL を利用する必要が生じた場合には、現状、ツールとは別にソフトを用意し、連携させる必要があります。

最近は、便利なフリーソフトが多くなってまいりましたので、このマニュアルでの動作確認でダメだったとしても、他のソフトと連携させることにより、メールの送信が可能になる場合が多い様です。

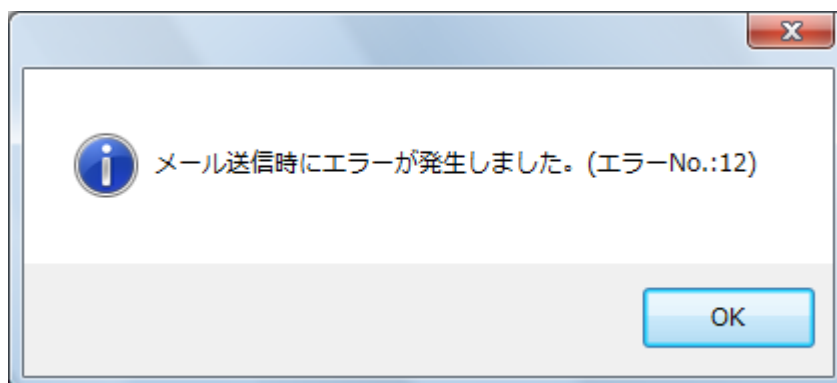
他のソフトとの連携につきましては、別紙、動作確認番外編を、ご参照下さい。但し、フリーソフトを利用した方法なので、自己の責任の元で、対応願います。

6.2. メールのテスト送信

ここまで入力が完了しましたら、各送信先へのメールのテスト送信を試してみてください。正常に情報が設定されている場合、下記の様なメッセージが表示されて、テストメールが送信先へ送られます。



下記の様なメッセージが表示された場合、設定が間違っていると思われます。この場合、もう一度、設定内容を、ご確認の上、訂正し、再度、テスト送信してください。



尚、送信時のエラーとしては、次ページのものが考えられます。エラー番号に従って、設定を、ご確認ください。

1) エラーNo.1、12、ダンマリ

SMTP サーバとの通信がうまくいっておりません。SMTP 関連の設定内容を、ご確認ください。

2) エラーNo.2

指定された SMTP サーバは、拡張 SMTP (ESMTP) に対応しておりません。

3) エラーNo.3

指定された SMTP サーバは、PLAIN 認証に対応しておりません。

4) エラーNo.4

指定されたユーザ ID は、存在しません。

5) エラーNo.5

指定されたパスワードが違います。

6) エラーNo.6

指定された送信元メールアドレスが違います。

7) エラーNo.7

指定された送信先メールアドレスが違います。

8) エラーNo.11

POP3 サーバとの通信がうまくいっておりません。POP3 サーバ関連の設定内容を、ご確認ください。

この段階で、各送付先へ、下記の様なテスト用のメールが届いているかどうか、ご確認ください。

件名: FXテスト送信1 日時: Tue, 24 Mar 2009 00:01:21 +0900

これは、FXテスト送信1です

もし、上記のメールが届いていないとすると、設定に不備があるか、又は、何らかの原因で、SMTP サーバが、当ツールからの送信を受け付けない状態になっている可能性があります。特に、送信先メールアドレスが違っている場合が多いので、再度、メールアドレスを、ご確認ください。（大文字小文字の違い、全角半角の違い、ブランクの混入等）

送信先メールアドレスが違っている場合、送信元メールアドレスに、下記の様なメールが返却されますので、ご確認ください。

件名: [SPAM]Mail System Error - Returned Mail 日時: Tue, 24 Mar 2009 00:15:06 +0900

This Message was undeliverable due to the following reason:

Each of the following recipients was rejected by a remote mail server.
The reasons given by the server are included to help you determine why each recipient was rejected.

又、送信先メールアドレス側では、送信元のメールアドレスからのメールが、迷惑メール等として処理されない様、ご注意願います。

ウィルス対策ソフトの中には、動作させておくと、メール送信が出来ないものが存在する様です。『ウイルスキラーゼロ』を動作させておくと、インペリアルからのメール送信が出来なかったとの報告が入っております。

6.3. POP Before SMTP の最後の一手

POP Before SMTP の場合、POP での認証が済めば、その後、一定時間は、メールの送信が可能になります。

通常、「SMTP 認証」の「+ POP3」設定で、送信出来るはずですが、サーバによっては、POP3 での認証が通らない場合があるかもしれません。

その場合には、最後の一手を利用します。

それは、利用する送信元メールアドレスの受信用に設定しているメーラーを常時立ち上げておきます。

そして、そのメーラーでの受信設定で、定期チェックを 5 分毎とかに設定します。すると、だいたい何時でも SMTP のみでのメール送信が可能になります。

この場合の「SMTP 認証」の設定は「なし」に設定しておきます。

但し、これにつきましても、ご自分の責任の元で、行ってください。

この最後の一手は、メーラーを必ず起動しておく必要があります。そして、このメーラーの定期チェックにより、POP 認証がされるため、いつでもメール送信が可能になる訳です。

メール送信が可能な時間単位は、各プロバイダ毎に異なるかと思われますが、だいたい 10 分程度かと思われます。

なので、メーラーの定期チェックを 5 分にしておけば、常時送信が、認証なしで可能になります。

この方法ですと、ツール起動時には、必ずメーラーを起動しておく必要があります。

6.4. 設定データの全クリア方法

いろいろとテストしている段階で、設定内容やレートデータが煩雑になり、一度クリアしたい場合には、実行ファイル（fxusdjpgy_c2.exe）が存在するフォルダーに出来ている、登録設定ファイル（fxusdjpgy_c2.dat）を削除してください。

これにつきましては、本物の商材ツールでも、全ての登録情報をクリアしたい場合には、同様のファイルを、削除することにより全クリア可能です。

7. おわりに

他ソフトと連携することにより、メール送信が可能になる場合があります。近年、各プロバイダーも、セキュリティ対応が進み、これに伴って、本ツールに対しても、各種SMTP認証やSSL対応に関するご要望が多くなってまいりました。

そこで、取り急ぎ、多少、手間はかかりますが、優秀なフリーソフトとの関係により、より多くの方が利用可能となる方法を検証しました。その方法につきましては、動作確認番外編をご参照の上、トライしてみてください。

動作確認番外編の方法により、SSL 対応や、各種 SMTP 認証が必要なプロバイダーや、Gmail でも利用可能になります。

きちんと設定しているにもかかわらず、メールが届かないとすると、残念ながら、商材のツールも、ご利用になることは、出来ません。

この場合、購入されても商材のツールは動作しませんので、ご購入は、お控えください。

以上、インターネット接続と、メールの送信が、ご確認出来れば、OKです。
インペリアルは、あなたのマシンで動作します。

ご確認、お疲れ様でした。(^ ^

その他、何かご質問があれば、fxpnavi_info@life-kaiteki.comまでどうぞ。多少時間がかかるかもしれませんが、可能な範囲で、お答えさせていただきます。

シロ